



緑萌ゆ

新宮小・中学校長だより 2023.5.31

修学旅行・大洲青年交流の家体験活動を実施しました

5月25日・26日、小学部の修学旅行が実施されました。今年度は、コロナ以前の日程に戻り、プロ野球観戦や宮島訪問なども行うことができました。また、数日前まで広島サミットが開かれ、世界的に注目されたばかりの広島を訪問することになったのは感慨深いものがありました。各国の代表者が訪れた原爆資料館や平和記念公園、厳島神社などに日を開けずに訪問することになりました。児童にとっても、広島サミット直後の修学旅行だったことは、将来にわたって印象深い思い出になったことだと思います。宿泊したホテルが、各国首脳が会議したホテルだったので、児童以上に私が感激していました。

修学旅行中の児童は、集合時間もしっかりと守ることができ、2日間の行程をほぼ予定時間通り行うことができました。平和学習では真剣に取り組み、野球観戦や宮島水族館、みろくの里では友だちのことも考えながら行事を楽しもうと、メリハリのある行動ができていて大変立派な態度でした。特に感心したことの 하나가、平和学習で語り部さんのお話を聞いた後、3人の児童が質問をしましたが、どの質問も大変すばらしい質問であったことです。私も、まさにそこが聞きたいと思ったことを3人の人がズバリ質問してくれました。それは、質問した人だけでなく、事前の平和学習を学級みんなで真剣に学習していたからできたことだと思います。新宮小のすばらしさが、キラキラと輝いた瞬間でした。

その前の週には、中学部の大洲青年交流の家宿泊体験もありました。心配された雨も、2日目の午後の行事が変更になっただけでスムーズに行われました。カヌー、エアロビクス、クライミング、飯盒炊飯、ペタング、ウォークラリー等々、各行事で協力し合いながら、楽しく充実した体験ができたと聞いています。特に、飯盒炊飯の手際の良さやできあがりは、これまで見た生徒の中で一番だったと、引率教員がとても感心していました。気を引き締めるところは引き締めながら、参加者全員が楽しく過ごすことができるよう考えて行動し、それを実現できていたという事が何より素晴らしいことだと思います。

さすが、新宮小・中学校の児童生徒です！！

【ICT支援員】

市から配置されているICT支援員の松本さんが赴任されました。月2回ほどの割合で学校を訪問していただきます。児童生徒が直接かかわる場面は授業中のICT機器使用の補助や支援等ですが、教職員のICT活用能力向上のためのアドバイスや授業提案を含む研修の実施、ICTを使った授業で使用する資料の作成などで学校をサポートしていただいています。ICT支援員が配置されていない市町も少なくなく、ICT教育に力を入れている四国中央市の施策の一例です。

